「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案（略案）例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ①学年・組 | ②職名・授業者氏名 | ③教科 | ④ペアでの話合い活動 | ⑤グループでの話合い活動 |
| ６年１組 | 教諭・日田　太郎 | 国語 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| ⑥単元名(題材名) | 表現を工夫してファンタジーを書こう　『きつねの窓』 |
| ⑦本時のねらい | 『きつねの窓』の作品世界を生み出す優れた叙述について、複数の叙述を結び付けたり他の表現方法と比較したりすることによって、様々な表現の効果を考えることができるようにする。 |
| ⑧本時の評価規準 | 【思考・判断・表現Ｃエ】想像した作品世界と関わらせながら、それぞれの表現技法が読み手に与える効果について自分の考えを明らかにしている。〔ノート〕 |
| ⑨展開 | めあて | 自分の作品づくりに生かすために、プロの作品から表現の仕方を取材しよう。 |
|  | 課　題 | 『きつねの窓』にはどんな表現の工夫や効果があるのかな。 |
| 手立て | 「Ｃ:努力を要する」状況の児童への手立て・『川とノリオ』で学習した表現技法と一つずつ対応させながら、『きつねの窓』の表現技法について、工夫や効果を考えさせる。 |
| 「特別な支援等の配慮を要する」児童への手立て・文章を目で追いながら読むことが苦手な児童に対して、読む部分だけが見える自助具（スリット）を活用する 。 |
| まとめ | ・色彩語を使うと、不思議な世界全体の雰囲気を伝えられる。・比喩を使うと、不思議な世界の音や映像を伝えられる。・倒置法を使うと、不思議さを強調できる。・不思議な世界の入口が分かる文を書くと、登場人物が日常の世界から迷い込んだことが分かる。 |
| 振り返り | ・不思議な世界の入口の書き方のイメージがつかめた。・ほかにもたくさんの表現技法が用いられているはず。もっと取材したい。等 |
| 板書計画めあて自分の作品づくりに生かすために、プロの作品から表現の仕方を取材しよう。きつねの窓　　　安房　直子課題『きつねの窓』にはどんな表現の工夫や効果があるのかな。〈不思議な世界の入口〉読者も不思議な世界に入っていくよう　道を一つ曲がった時、ふと、空がとてもまぶしいと思いました。まるで、みがき上げられた青いガラスのように……。すると、地面も、なんだか、うっすらと青いのでした。〈比喩〉まるで、昼の月を見失ったような感じ不思議な世界のイメージをふくらませている〈色彩語〉青いききょうの花畑青い字の看板こんの前かけ「青」の世界美しいけどちょっと怖いイメージ〈倒置法〉全くぼんやりしていたのです。昔大好きだった女のことなんかを、とりとめもなく考えながら。油断していたことを強調その景色は、あんまり美しすぎました。なんだか、そらおそろしいほどに。まとめ・色彩語を使うと、不思議な世界全体の雰囲気を伝えられる。危険な感じを強調・比喩を使うと、不思議な世界の音や映像を伝えられる。・倒置法を使うと、不思議さを強調できる。・不思議な世界の入口が分かる文を書くと、登場人物が日常の世界から迷い込んだことが分かる。 |